

平和のために私ができること。

清瀬小学校五年 渡邊 陽

「これやってみない?」

お母さんにピースエンジェルズの話聞いた。初めはあんまりピンとこなかったが、学校から手紙をもらい、活動の内容や目的が分かり、やってみようと気持ちが固まった。また広島にはいつか行ってみたいと、遠い存在だったが、行けるチャンスがすぐ近くにあると分かれるとやる気がこみ上げてきた。

学校に行き友達と遊び、家でご飯を食べ、布団で眠る。こんな当たり前のようにやっていることも、戦争が始まると当たり前ではなくなる。「おこり地蔵」や「ちいちゃんの影送り」など、戦争に関する本を読んで、罪のない人たちが次々に死んでいくという戦争の残酷さを知った。

また最近では、ロシアとウクライナの戦争で、ウクライナの子供がロシアに連れて行かれ、強制的にロシア語を勉強させられているというニュースを見た。大人が始めた戦争に、子供が巻き込まれている姿には本当に悲しくなった。攻撃の衝撃から身を守るために、窓のないお風呂で寝ている家族の映像も見た。安心できるはずの家でも常に不安な思いで過ごして

いる人たちがいることを知り、私の日常は平和なのだと改めて感じた。

「平和とは何か」について友達と話すことは普段ない。「平和」や「戦争」は私たちの中では少し難しい。なので、私が実際に広島に行って、自分の目で見て体感した感想を、多くの人に伝えたいと思う。私は本を読むこと、絵を描くことが好きだ。分かりやすく文章にまとめるだけでなく、絵も使いながら、みんなにも分かりやすく説明できると思う。

戦争は自由を奪う。そのためにも私たちは絶対に戦争をしてはいけない。小学生の私でもできることが必ずある。